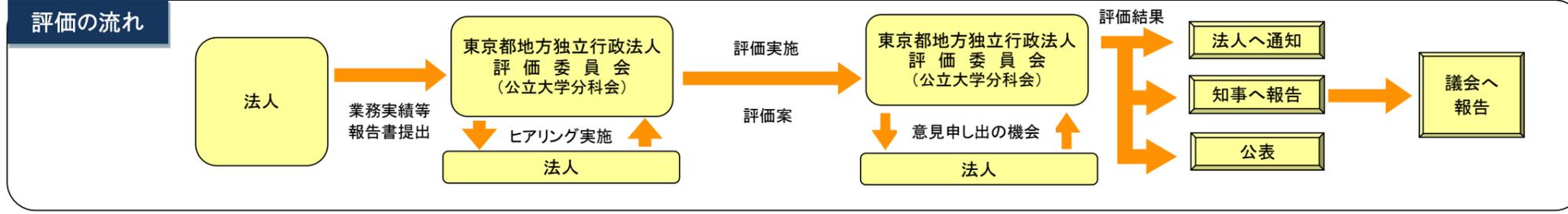


I 評価方法

公立大学法人首都大学東京（以下「法人」という。）から東京都地方独立行政法人評価委員会（以下「本委員会」という。）に提出された業務実績等報告書及び法人に対するヒアリングにより、本委員会としての評価を行う（地方独立行政法人法第78条第2項の規定に基づく年度評価を「公立大学法人首都大学東京の業務実績評価方針及び評価方法」により実施。）。



評価の実施方法

- ①項目別評価
年度計画の大項目ごとに事業の進捗・成果を5段階（1～5）で評価
特筆すべき点には、コメントを付す
- ②全体評価
項目別評価結果を踏まえ、中期計画達成に向けた進捗状況全体について記述式で評価

II 評価結果

1 項目別評価

(1) 評価結果

段階	評定 評語	29年度 項目数	(項目数内訳)			
			首都大	産技大	産技高専	法人運営
1	年度計画を大幅に上回って実施している					
2	年度計画を上回って実施している					
3	年度計画を順調に実施している					
4	十分に実施できていない					
5	業務の大幅な見直し、改善が必要である					
項目数		35	11	9	9	6

(参考) 第二期中期目標期間(H23～H28)

段階	評定 評語	第二期		28年度		27年度		26年度		25年度		24年度		23年度	
		項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
1	年度計画を大幅に上回って実施	11	21%	7	15%	3	6%	7	15%	3	6%	5	10%	6	12%
2	年度計画を順調に実施	41	79%	39	85%	44	94%	40	83%	45	94%	45	90%	44	86%
3	年度計画を十分に実施できていない	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1	2%
4	業務の大幅な見直し、改善が必要である	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
項目数		52	100%	46	100%	47	100%	48	100%	48	100%	50	100%	51	100%
年度計画なし(外数)				6	-	5	-	4	-	4	-	2	-	1	-

※第二期中期目標期間(H23～H28年度)は、4段階評価。

(2) 評価項目

首都大学東京(11項目)	評定	産業技術大学院大学(9項目)	評定	都立産業技術高等専門学校(9項目)	評定
教育関連		教育関連		教育関連	
①教育内容及び教育の成果等		①教育内容及び教育の成果等		①教育内容及び教育の成果等	
②教育の実施体制等 (教育改革を推進する取組の強化)		②教育の実施体制等 (産業界や他大学等との連携等)		②教育の実施体制等 (教育システムの継続的な改善等)	
③教育の実施体制等 (学修支援環境・教育の質の改善)		③教育の実施体制等 (教育の評価・改善)		③教育の実施体制等 (教育の質の評価・改善)	
④学生への支援		④学生への支援		④学生への支援	
⑤入学者選抜		⑤入学者選抜		⑤入学者選抜	
研究関連		研究関連		研究関連	
⑥研究水準及び研究の成果等		⑥研究		⑥研究	
⑦研究実施体制等		社会貢献関連		社会貢献関連	
社会貢献関連		⑦都政との連携		⑦都政との連携	
⑧都政との連携		⑧社会貢献等		⑧社会貢献等	
⑨社会貢献等		グローバル化関連		グローバル化関連	
グローバル化関連		⑨グローバル化		⑨グローバル化	
⑩教育の国際通用性等		法人の業務運営等(6項目)	評定	自己点検・評価及び情報の提供	評定
⑪海外の大学等との連携		業務運営		⑤自己点検・評価及び情報の提供	
		①組織運営の改善		その他業務運営	
		②教育研究組織の見直し等		⑥その他業務運営	
		③事務の効率化・合理化等			
		財務内容			
		④財務内容の改善			

2 全体評価

(1) 総評

平成29年度は、第三期中期目標期間の初年度であり、期間の基礎の年となるべく、新たな中期計画に基づき年度計画を順調に実施しており、着実な業務の進捗状況にある

主な取組

主な評価コメント

《首都大学東京》

- 教学IR推進室の設置による教育情報の収集・分析
- 平成30年度の教育研究組織再編成に向け、カリキュラムマップ策定やルーブリック評価導入に向けた取組、積極的な入試広報を実施
- 各部局において、アクティブ・ラーニングを積極的に推進

- 教育に関わる様々な情報の分析において、期待される以上の成果を出していることを高く評価
- 教育や学生支援の準備が着実に進められており、前年度並みの志願者があるなど、確実な成果を得た
- 部局特有の状況に合わせた内容で、教育の質を高める取組を実施したことを評価

《産業技術大学院大学》

- ロールモデル集やPBL教育のノウハウを体系化した「AIIT PBL Method」などによる教育成果の効果的な発信
- 教育の質の向上を図るFDフォーラムへの教員参加率100%の達成、授業評価アンケート結果に基づく授業改善の実施

- 志願倍率改善につながったことを評価
- 授業評価アンケートでさらに高い評価を得るなど、教育改善が進展

《都立産業技術高等専門学校》

- 「情報セキュリティ技術者」及び「航空技術者」を育成する職業教育プログラムを企業・官公庁等の協力を得ながら実施
- 海外体験プログラムを2つのプログラムに再編し、より実践的な内容に強化

- 職業教育プログラムの内容充実が図られ、着実に推進したことを高く評価
- 目標とした70名の海外体験プログラムへの参加を達成し、参加学生から高い満足度を得た

《法人の業務運営》

- 新理事長の下、新方針「GOS (Globalization, Only one, Senior)」を企画・立案
- 個人情報の漏えい事故が複数発生

- 新方針「GOS」のもと、2大学1高専の取組を積極的に発信
- 情報セキュリティ事故防止強化対策に組織として取り組むこと

(2) 中期目標の達成に向けた課題、法人への要望など

- 中期計画期間初年度ということもあり、「仕組みができた」「取組を始めた」という項目が多い印象であった。今後はその具体的な成果が表れる報告を期待する。
- 数値目標を掲げている項目も多いが、量的な目標だけでなく、質的向上を目指すことを要望する。